

目 次

研究の概要

第一部 論説 個別の指導計画作成に関する関係者の協力関係推進

論説 1 特殊教育における連携と組織化の深化	3
論説 2 個別の指導計画の作成とそれを支えるためのシステム	10
論説 3 教育と福祉の協働に向けて一家族支援体制形成の意義一	14
論説 4 ワークショップー自ら主体的に問題を解決していくための新しい学びと創造の場	19
論説 5 情報共有及び協力関係推進の方法論	31
1 情報の共有・分析ーブレーン・ライティング法による事例研究	32
2 情報の共有・分析ーインシデント・プロセス法による事例研究	34
3 協力関係の推進ーPATHの技法	36
4 協力関係の推進ーポテンシャル分析の技法	37

第二部 実践事例 研究協力校における実践及び短期・長期研修におけるワークショップ

実践 1 個別教育計画作成における保護者と教師の協働について	
ーK J法を参考にした話し合いの試みー	39
実践 2 保護者・教師・関係者との連携の実際ー自閉症学級における事例からー	44
実践 3 ブレーン・ライティング法による事例研究	49
実践 4 長期研修におけるP A T Hの技法を用いたワークショップ	52
実践 5 短期研修におけるポテンシャル分析の技法を用いたワークショップ	55
実践 6 研究協力者によるインシデント・プロセス法による事例研究	58

第三部 調査

1. 全国の特殊教育センター等における個別の指導計画の作成の研修に関する調査	71
--	----

第四部 研修 協力関係推進に関する特殊教育センター等における研修の実際

1. 神奈川県総合教育センターにおける人材育成研修講座について	75
---------------------------------	----

第五部 総合考察

資料 1 教師の連携・協力を促すワークショップーPATHの技法を用いた試みの紹介ー	85
資料 2 全国の特殊教育センター等における個別の指導計画の作成の研修に関する調査	91
資料 3 インシデント・プロセス法による事例研究の事例に関する資料	99